

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

07.09.2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

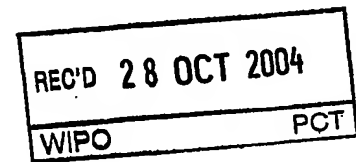
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2003年10月27日

出 願 番 号  
Application Number: 特願2003-365485

[ST. 10/C]: [JP 2003-365485]

出 願 人  
Applicant(s): 松下電器産業株式会社

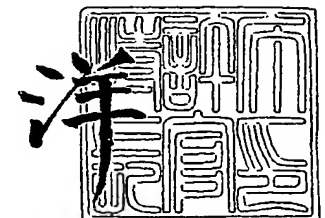


PRIORITY DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年10月15日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

小 川



【書類名】 特許願  
【整理番号】 2968250040  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【国際特許分類】 H04N 5/76  
【発明者】  
    【住所又は居所】 広島県東広島市鏡山3丁目10番18号 株式会社松下電器情報システム広島研究所内  
    【氏名】 長谷川 智子  
【発明者】  
    【住所又は居所】 広島県東広島市鏡山3丁目10番18号 株式会社松下電器情報システム広島研究所内  
    【氏名】 植田 栄治  
【特許出願人】  
    【識別番号】 000005821  
    【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社  
【代理人】  
    【識別番号】 100105175  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 山広 宗則  
    【電話番号】 082-222-9109  
【選任した代理人】  
    【識別番号】 100105197  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 岩本 牧子  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 043775  
    【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1  
    【物件名】 明細書 1  
    【物件名】 図面 1  
    【物件名】 要約書 1  
    【包括委任状番号】 0215016

**【書類名】 特許請求の範囲****【請求項 1】**

映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データを多重化された放送番組を受信可能なメール作成装置において、

放送を受信する放送受信手段と、

受信した放送から、映像・音声と、放送データとを分離するデコード手段と、

分離された映像・音声を出力する映像・音声出力手段と、

前記放送データを格納管理する記憶手段と、

ユーザからの要求により、前記放送番組のシーンを特定するための、番組を特定するためのIDと時刻から構成される、シーン特定情報を生成する入出力受付手段と、

前記シーン特定情報に対応する放送データを前記記憶手段から検索する検索手段と、

検索された放送データから前記シーン関連情報を取得するフィルタリング手段と、

前記シーン関連情報を元にメールを作成するメール作成手段と、

前記作成したメールを送信する通信手段とを備えたことを特徴とするメール作成装置。

**【請求項 2】**

前記メール作成手段は、前記シーン関連情報のタイトルに相当する部分をメールのサブジェクトに設定することを特徴とする請求項 1 記載のメール作成装置。

**【請求項 3】**

前記メール作成手段は、前記シーン関連情報を他のメール本文とは異なる形式で表示することを特徴とする請求項 1 記載のメール作成装置。

**【請求項 4】**

映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データを多重化された放送番組を受信可能なメール作成方法において、

放送を受信する放送受信ステップと、

受信した放送から、映像・音声と、放送データとを分離するデコードステップと、

分離された映像・音声を出力する映像・音声出力ステップと、

前記放送データを格納管理する記憶ステップと、

ユーザからの要求により、前記放送番組のシーンを特定するための、番組を特定するためのIDと時刻から構成される、シーン特定情報を生成する入出力受付ステップと、

前記シーン特定情報に対応する放送データを検索する検索ステップと、

検索された放送データから前記シーン関連情報を取得するフィルタリングステップと、

前記シーン関連情報を元にメールを作成するメール作成ステップと、

前記作成したメールを送信する通信ステップとを備えたことを特徴とするメール作成方法。

**【請求項 5】**

映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データを多重化された放送番組を受信可能なメール作成装置に、

放送を受信する放送受信ステップと、

受信した放送から、映像・音声と、放送データとを分離するデコードステップと、

分離された映像・音声を出力する映像・音声出力ステップと、

前記放送データを格納管理する記憶ステップと、

ユーザからの要求により、前記放送番組のシーンを特定するための、番組を特定するためのIDと時刻から構成される、シーン特定情報を生成する入出力受付ステップと、

前記シーン特定情報に対応する放送データを検索する検索ステップと、

検索された放送データから前記シーン関連情報を取得するフィルタリングステップと、

前記シーン関連情報を元にメールを作成するメール作成ステップと、

前記作成したメールを送信する通信ステップと含むステップを実行させることを特徴とするメール作成プログラム。

**【請求項 6】**

映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データ

を多重化された放送番組を受信可能なメール作成装置に、  
放送を受信する放送受信ステップと、  
受信した放送から、映像・音声と、放送データとを分離するデコードステップと、  
分離された映像・音声を出力する映像・音声出力ステップと、  
前記放送データを格納管理する記憶ステップと、  
ユーザからの要求により、前記放送番組のシーンを特定するための、番組を特定するためのIDと時刻から構成される、シーン特定情報を生成する入出力受付ステップと、  
前記シーン特定情報に対応する放送データを検索する検索ステップと、  
検索された放送データから前記シーン関連情報を取得するフィルタリングステップと、  
前記シーン関連情報を元にメールを作成するメール作成ステップと、  
前記作成したメールを送信する通信ステップと含むステップを実行させるメール作成プログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【書類名】明細書

【発明の名称】メール作成装置、方法、プログラム、及び記録媒体

【技術分野】

【0001】

本発明は放送システム、電子メール配信装置、電子メール本文作成方法に関し、詳しくは、放送データを利用した電子メールの本文を容易に作成するメール装置、方法、プログラム及びプログラムを格納した媒体に関する。

【背景技術】

【0002】

近年、アナログ放送からデジタル放送への転換が急速に進んできている。デジタル放送の普及に伴い、アナログ放送では困難であった各種サービスが実用化されてきている。データ放送サービスがその例として挙げられる。例えば、ユーザはTV番組を視聴する傍ら、天気予報のデータや、ユーザが視聴しているTV番組のホームページのURLなどといった情報を、放送により容易に取得することができる。上記データ放送サービスで利用されるデータの記述形式としてBML (Broadcast Markup Language) が一般に知られている。

【0003】

他方では、携帯電話の高機能化が急速に進んでいる。従来、携帯電話の主サービスは音声通信であったが、現在では、ホームページ閲覧や、電子メールサービス（以下単にメールと称する）が必要不可欠となっている。特に、メールは音声通信に代わる得る主サービスになりつつある。

【0004】

上記述べた状況下において、近年では携帯電話にデジタル放送受信機能を搭載することにより、デジタル放送受信機能と、メール通信機能を組み合わせたサービスが提案されている。

上記サービスとは、ユーザがTV番組の視聴中にシーンを指定し、該シーンに関連する情報であるシーン関連情報を添付したメールを送信するものである。ここで、シーンとは、TV番組の一部を示し、シーンは時刻と番組を特定するチャンネルなどから一意に決まる放送データを意味する。ユーザがシーンを指定するものとしては、例えば、特許文献1に記載のものが知られている。

【0005】

このような従来技術のサービスを実現するための構成を図15に示す。上記サービスは、放送局から多重化したTV番組の放送データを受信する放送受信手段801と、受信した放送データを映像・音声とデータとに分離するデコード手段802と、映像・音声出力する映像・音声出力手段803と、データを記憶媒体に格納して管理する記憶手段804と、ユーザのシーン特定を検出し、シーン特定情報を生成する入出力受付手段806と、シーン特定情報からシーンの検索を行う検索手段805と、シーン関連情報が添付された、メールを作成するメール作成手段808と、作成したメールを送信するメール送信手段809から構成される。

【特許文献1】特開2002-374480号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら、上記従来技術では、シーン関連情報としてTV番組のホームページのURLなどのデータをメールに添付することはできても、メールにて伝えようとしている内容はユーザがキー操作で入力することにより作成する必要がある。その結果、シーンを特定してからメールを送信するまでに非常に多くの時間を費やしてしまうという問題が発生する。

【0007】

そこで、本発明の目的は、シーン関連情報をメールで送信する場合、ユーザの意図する

内容を作成する際の、ユーザ入力操作を最小限に留め、容易にメール作成を行うことである。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記目的を達成させるために、本発明は以下に示す特徴を備えている。

本発明における第1の発明は、映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データを多重化された放送番組を受信可能なメール作成装置において、

放送を受信する放送受信手段と、

受信した放送から、映像・音声と、放送データとを分離するデコード手段と、

分離された映像・音声を出力する映像・音声出力手段と、

前記放送データを格納管理する記憶手段と、

ユーザからの要求により、前記放送番組のシーンを特定するための、番組を特定するためのIDと時刻から構成される、シーン特定情報を生成する入出力受付手段と、

前記シーン特定情報に対応する放送データを前記記憶手段から検索する検索手段と、

検索された放送データから前記シーン関連情報を取得するフィルタリング手段と、

前記シーン関連情報を元にメールを作成するメール作成手段と、

前記作成したメールを送信する通信手段を備えている。

【0009】

本発明における第2の発明では、前記端末装置におけるメール作成手段は、放送データのタイトルに相当する部分をメールのサブジェクトに設定する。

本発明における第3の発明では、前記端末装置におけるメール作成手段は、シーン関連情報を他のメール本文とは異なる形式で表示する。

【0010】

本発明における第4の発明は、映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データを多重化された放送番組を受信可能なメール作成方法において、

放送を受信する放送受信ステップと、

受信した放送から、映像・音声と、放送データとを分離するデコードステップと、

分離された映像・音声を出力する映像・音声出力ステップと、

前記放送データを格納管理する記憶ステップと、

ユーザからの要求により、前記放送番組のシーンを特定するための、番組を特定するためのIDと時刻から構成される、シーン特定情報を生成する入出力受付ステップと、

前記シーン特定情報に対応する放送データを前記記憶手段から検索する検索ステップと

、検索された放送データから前記シーン関連情報を取得するフィルタリングステップと、

前記シーン関連情報を元にメールを作成するメール作成ステップと、

前記作成したメールを送信する通信ステップを備えている。

【0011】

本発明における第5の発明は、映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データを多重化された放送番組を受信可能なメール作成装置に、放送を受信する放送受信ステップと、

受信した放送から、映像・音声と、放送データとを分離するデコードステップと、

分離された映像・音声を出力する映像・音声出力ステップと、

前記放送データを格納管理する記憶ステップと、

ユーザからの要求により、前記放送番組のシーンを特定するための、番組を特定するためのIDと時刻から構成される、シーン特定情報を生成する入出力受付ステップと、

前記シーン特定情報に対応する放送データを前記記憶手段から検索する検索ステップと

、検索された放送データから前記シーン関連情報を取得するフィルタリングステップと、

前記シーン関連情報を元にメールを作成するメール作成ステップと、  
前記作成したメールを送信する通信ステップを含むステップを実行させることを特徴とするメール作成プログラムである。

#### 【0012】

本発明における第6の発明は、映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データを多重化された放送番組を受信可能なメール作成装置に、放送を受信する放送受信ステップと、  
受信した放送から、映像・音声と、放送データとを分離するデコードステップと、  
分離された映像・音声を出力する映像・音声出力ステップと、  
前記放送データを格納管理する記憶ステップと、  
ユーザからの要求により、前記放送番組のシーンを特定するための、番組を特定するためのIDと時刻から構成される、シーン特定情報を生成する入出力受付ステップと、  
前記シーン特定情報に対応する放送データを前記記憶手段から検索する検索ステップと

検索された放送データから前記シーン関連情報を取得するフィルタリングステップと、  
前記シーン関連情報を元にメールを作成するメール作成ステップと、  
前記作成したメールを送信する通信ステップを含むステップを実行させるメール作成プログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体である。

#### 【発明の効果】

##### 【0013】

以上説明したように、本発明によれば、テキストデータ（すなわち、シーン関連情報のこと）の間を補う言葉を入力するだけで、メール本文を作成することが可能になるという効果が得られる。

また、本発明によれば、ユーザがメールのサブジェクト入力操作を省略できるという効果が得られる。

また、本発明によれば、メール本文中のシーン関連情報とユーザが入力した部分とを視覚的に区別するという効果が得られる。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

##### 【0014】

以下本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

##### （実施の形態1）

まず、本実施の形態1におけるデジタル放送サービスとメールサービスを組み合わせたコミュニケーションシステムの概略について、図1を用いて説明する。

図1に示すように、本発明におけるコミュニケーションシステムは、放送波を配信する放送局101と放送データを受信する端末装置102が放送に関する機能を備え、メールを作成し送信する端末装置102とメールを受信する端末装置106が通信に関する機能を備える。さらに、基地局103、105と通信網104はメール機能において、メールの送受信を可能にする。

##### 【0015】

また、図2は、放送機能とメール機能を備えた端末装置102の外観図である。ユーザがTV番組の視聴中に別のユーザに伝えたいような興味深いシーン（画面201表示中）に遭遇した場合、端末装置102のシーン特定ボタン202を押下する。この操作により、シーン特定ボタン202を押下した時刻に視聴していたチャンネルのシーンを取得することが可能になる。シーンの特定については、後で詳細に述べる。

以上が本発明の実施の形態1におけるデジタル放送サービスとメールサービスを組み合わせたコミュニケーションシステムの概略である。

##### 【0016】

次に、本発明の実施の形態1におけるユーザ操作について、図3～図7を参照して説明する。

はじめに、図3のフローチャートを参照して前記放送機能に関する処理について説明す

る。端末装置 102 は、放送局 101 から放送を受信する (S301)。

続いて、図 4 のフローチャートを参照して前記メール機能に関する処理について説明する。端末装置 102 は、メール作成を行い、別のユーザに対して作成したメールを送信する (S401、S402)。

以下、前記放送機能に関する放送受信 (S301) 処理の詳細について、図 5 のフローチャートを参照して説明する。

端末装置 102 は、放送波を受信する (S501) と、放送波のデコードを行う (S502)。デコードした結果、放送データであれば記憶媒体へデータを蓄積する (S503)。一方、映像・音声であればスピーカーやディスプレイ等に出力する (S504)。なお、蓄積される放送データは、BML などの番組記述言語で記述されたデータである。以上の処理を受信する放送波がある間繰り返す (S505)。

以上が前記放送機能に関する放送受信 (S301) 処理の詳細である。

#### 【0017】

次に、前記通信機能に関するメール作成 (S401) 処理の詳細について、図 6 のフローチャートを参照して説明する。

端末装置 102 は、ユーザが TV 番組の視聴中に任意のシーンを特定すると (S601)、時刻やチャンネル等のシーン特定情報に基づいてユーザが特定したシーン、つまり、ユーザが特定した放送データからシーン関連情報が抽出され、メール本文に挿入される。従って、ユーザはシーン関連情報が付与されたメール本文に対して、言葉と言葉の間を補う程度の編集を行い、メールを完成させる (S602)。

以上が前記通信機能に関するメール作成 (S401) 処理の詳細である。

以上が本発明の実施の形態 1 におけるユーザ操作である。

#### 【0018】

次に、本発明の実施の形態 1 における端末装置 102 のハードウェア構成について、図 7 を参照して説明する。

端末装置 102 は、図 7 に示すように、放送波受信用のアンテナを有する放送受信部 701、スピーカーと画面を有する出力部 702、デコードした放送データの ROM と RAM への記憶機能を制御する記憶部 703、通信網 104 に接続可能なアンテナを有する通信部 704、装置全体の制御を行う CPU 705、プログラムが格納される ROM 706 とプログラムの実行に利用される RAM 707、及び、シーン特定ボタン 202 を有するボタン入力部 708 から構成され、互いに接続されている。

#### 【0019】

ROM 706 内には、システムを提供するためのソフトウェアプログラムが格納されており、CPU 705 は ROM 706 内に格納されているプログラムを実行する。該実行に伴い、CPU 705 は RAM 707 に対して、実行時に発生するデータの書き込み・修正を行う。

該実行に伴い、CPU 705 はユーザに対して、放送局 101 から配信される放送波を放送受信部 701 で受信し、出力部 702 を通じて、スピーカーに音声を出力し、画面へ画像を出力する。また、ボタン入力部 708 に接続された入力を行うシーン特定ボタン 202 よりユーザキー入力を受け付ける。また、通信部 704 に接続されたアンテナを通じて通信を行い、システムに必要なデータをメールの電子メールを受信・送信する。

以上が本発明の実施形態 1 における端末装置 102 のハードウェア構成である。

#### 【0020】

次に、本発明の実施の形態 1 における放送機能とメール機能を備えた端末装置 102 のソフトウェア構成について、図 8 を用いて、説明する。

端末装置 102 は、ROM 706 に格納されているプログラムは CPU 705 により読み取られることにより、放送局 101 から多重化した TV 番組の放送データを受信する放送受信手段 801、受信した放送データを映像・音声とデータとに分離するデコード手段 802、映像・音声を出力する映像・音声出力手段 803、データを記憶媒体に格納して管理する記憶手段 804、ユーザのシーン特定を検出し、シーン特定情報を生成する入出



力受付手段 806、シーン特定情報からシーンの検索を行う検索手段 805、シーンからシーン関連情報を生成するフィルタリング手段 807、シーン関連情報が挿入されたメール本文の編集を行い、メール本文を完成させるメール作成手段 808、及び、作成したメールを端末装置 106 へ送信するメール送信手段 809 という具体的な手段として機能する。

以上が本発明の実施の形態 1 における放送機能とメール機能を備えた端末装置 102 のソフトウェア構成である。

#### 【0021】

次に、本発明の実施の形態 1 における前記メール機能に関する端末装置 102 の処理の詳細について、図 9～図 14 を用いて説明する。なお、図 9 は、シーン特定 (S501) 処理のフローチャートを示す。

前述のように、端末装置 102 は、ユーザがシーン特定ボタン 202 押下を検出すると、時刻やチャンネル等のシーン特定情報を生成する (S901)。例えば、ユーザが、図 11 に示すような、シーン 1101 を見て、別のユーザにメールを送信しようとした場合、図 10 に示すように、シーン特定ボタン 202 を押下した時刻 1001、視聴中のチャンネル 1002 等がシーン関連情報である。同様に、シーン 1102 を見て、別のユーザにメールを送信しようとした場合、シーン特定ボタンを押下した時刻 1004、視聴中のチャンネル 1005 等がシーン関連情報である。なお、シーン特定情報は、放送データを一意に特定することが可能なデータのことであり、TV 番組のコンテンツ ID などでも構わない。

#### 【0022】

ここで、チャンネルについて、図 12 を参照して補足しておく。日本では、BS デジタル放送などで知られているように、デジタル放送の大きな特徴の 1 つに多チャンネル化が挙げられる。従来のアナログ放送では、通常、1 つのチャンネルには 1 つの番組が割り当てられているが、デジタル放送では、1 つのチャンネルに対して複数の番組を割り当てることが可能になる。通常、1 つのチャンネル内に含まれる複数の番組をサービスチャンネルという識別子で区別される。

#### 【0023】

以上を考慮した場合、シーン特定情報 1002、1005 のように同一チャンネルの場合には、チャンネル 1002、1005 に加えて、サービスチャンネル 1003、1006 によって対応する放送データが識別される。また、サービスチャンネルは全く異なる番組との区別に限らず、ある 1 つの番組で 1202 のようなサービスをユーザが選択して利用することも可能である。一方、地上波デジタル放送において、携帯電話などの移動体端末やラジオ向けのデジタル放送の場合、放送データを 13 個のセグメントに分割して、分割したセグメントを組み合わせて利用する。例えば、移動体端末向け、ラジオ向け、固定端末向けの 3 つの用途に、13 個のセグメントを振り分ける。受信側の移動体端末は、安定した受信や省電力を考慮して 13 セグメントの放送データのうち、1 セグメントの放送データ 1203 を受信し、ドキュメンタリー「プロジェクト X」という番組の視聴のみのサービスを利用する。同様に、ラジオは、3 セグメントの放送データ 1204 でドキュメンタリーのナレーションに加えて、高音質のサウンドのサービスを利用し、固定端末は、ドキュメンタリーにおいて、通信網 104 を介して他の視聴者とチャットを行う視聴者参加型の討論会のようなサービスを利用する。

#### 【0024】

このように、地上波デジタル放送では、セグメントの組み合わせによって、BS デジタル放送のサービス 1202 のような異なるサービスの利用が可能になる。つまり、放送のデジタル化に伴い、1 つのチャンネルに複数のサービスが含まれる場合は、本発明におけるシーン関連情報にも、サービスチャンネルのようなサービスを識別する方法を追加すればよいことを補足しておく。

#### 【0025】

次に、シーン特定情報に基づいて、蓄積された放送データからユーザが特定したシーン

、つまり、ユーザが特定した放送データが検索される (S902)。なお、前述のように、この放送データは、端末装置 102 に蓄積された BML データのことである。例えば、シーン特定情報 1001 及び 1002 に蓄積されたデータ 1103 内の 1104 の部分が該当放送データとして対応付けられる。つまり、シーン特定ボタン 202 の押下により放送データ 1104 を取得することが可能になる。同様に、シーン特定情報 1004 及び 1005 は、放送データ 1105 と対応付けられる。次に、検索した放送データからシーン関連情報のフィルタリングを行う (S903)。ここで、シーン関連情報とはシーンに関連するテキストデータで、放送データ 1010 内の <title></title> で囲まれた TV 番組のタイトル「女子マラソン」や、<mailText></mailText> で囲まれた TV 番組の出演者名「高橋尚子」などを意味する。次に、フィルタリングの結果取得したシーン関連情報をメール本文に挿入する (S904)。

#### 【0026】

ここで、図 13 は、シーン関連情報がメール本文に挿入される場合の画面の表示例である。放送データ 1301 が、シーン関連情報 1302~1305、動画ファイル 1306 を有する場合、放送データ 1201 内の <title></title> で囲まれた「女子マラソン」(1302) は、メール 1206 のメールのサブジェクト 1207 として挿入され、<mailText></mailText> で囲まれた「高橋尚子」(1303)、「ゴール」(1304)、「ラストスパート」(1305) は、メール本文 1309 に挿入される。動画ファイル 1306 は、添付ファイル 1311 としてメールに付与される。なお、フィルタリング方法については、前記例のように、シーン関連情報の放送データを <mailText></mailText> で囲まれたメールに利用可能なタグで定義する、或いは、<mailText></mailText> タグで囲まれた全ての放送データをシーン関連情報とするなど、いかなる方法で行ってもよい。また、さらに、前記例では、放送データが BML である場合のため、シーン関連情報をテキストデータとしたが、メール作成に利用できるデータであれば、バイナリデータでも構わない。

#### 【0027】

また、図 14 は、メール本文編集前とメール本文編集後の画面の表示例である。シーン関連情報が挿入されたメール本文編集前の表示画面 1306 において、シーン関連情報が挿入されたメール本文 1309 に、「が」、「前に」、「したとこ、感動した!」を補い、メール本文 1402 のように編集する。メール本文を編集後の表示画面が 1401 である。下線が付された部分がシーン関連情報である。

以上が本発明の実施の形態 1 における前記メール機能に関する端末装置 102 の処理である。

#### 【0028】

##### (実施の形態 2)

次に、本実施の形態 2 におけるメールのサブジェクトの決定方法について、図 13 を用いて説明する。

放送データ 1201 において、<title></title> タグで囲まれたシーン関連情報 1302 は、メールのサブジェクトとして利用する (1309)。なお、<title></title> タグ以外のタグで定義されたシーン関連情報であってもよい。つまり、放送データの見だしに相当する情報であればよい。また、該当するサブジェクト用シーン関連情報が存在しない場合には、該当するシーン内の動画、音声、静止画などのファイル名や、コンテンツ ID など、放送データの識別子の情報をメールのサブジェクトとして利用する。

以上が本発明の実施の形態 2 におけるメールのサブジェクトの決定方法である。

#### 【0029】

##### (実施の形態 3)

次に、本実施の形態 3 におけるメール本文の表示方法について、図 12 を用いて説明する。

ユーザが編集を行った後に表示されるメール本文は、シーン関連情報とユーザが入力した部分を区別するために、それぞれ異なった形式で表示する。例えば、1202 のように

、シーン関連情報のみが下線付の形式で表示される。なお、表示形式は、文字色を変えて表示するなど、いかなる方法でも構わない。

以上が本発明の実施の形態 3 におけるメール本文の表示方法である。

【産業上の利用可能性】

【0030】

本発明にかかる放送システム、電子メール配信装置、電子メール本文作成方法は、放送データを利用した電子メールの本文を容易に作成するメール装置、方法、プログラム及びプログラムを格納した媒体を有し、映像・音声と、特定のシーンに関連するシーン関連データを少なくとも含む放送データを多重化された放送番組を受信可能なメール作成装置として有用である。

【図面の簡単な説明】

【0031】

【図 1】 本発明の一実施の形態によるデジタル放送サービスとメールサービスを組み合わせたコミュニケーションシステムの概略を示す図。

【図 2】 本発明の一実施の形態による放送機能とメール機能を備えた端末装置の外観を示す図。

【図 3】 本発明の一実施の形態による放送機能に関する手順を示すフローチャート。

【図 4】 本発明の一実施の形態によるメール機能に関する手順を示すフローチャート。

【図 5】 本発明の一実施の形態による放送を受信する手順を示すフローチャート。

【図 6】 本発明の一実施の形態によるメールを作成する手順を示すフローチャート。

【図 7】 本発明の一実施の形態による放送機能とメール機能を備えた端末装置のハードウェア構成図。

【図 8】 本発明の一実施の形態による放送機能とメール機能を備えた端末装置のソフトウェア構成図。

【図 9】 本発明の一実施の形態によるシーンを特定する手順を示すフローチャート。

【図 10】 本発明の一実施の形態によるシーン特定情報の具体例を示す図。

【図 11】 本発明の一実施の形態によるシーンを特定する具体例を示す図。

【図 12】 本発明の一実施の形態による同一チャンネルの複数サービスを示す図。

【図 13】 本発明の一実施の形態によるシーン関連情報挿入の表示画面を示す図。

【図 14】 本発明の一実施の形態によるメール編集後の表示画面を示す図。

【図 15】 従来の放送機能とメール機能を備えた端末装置のソフトウェア構成図。

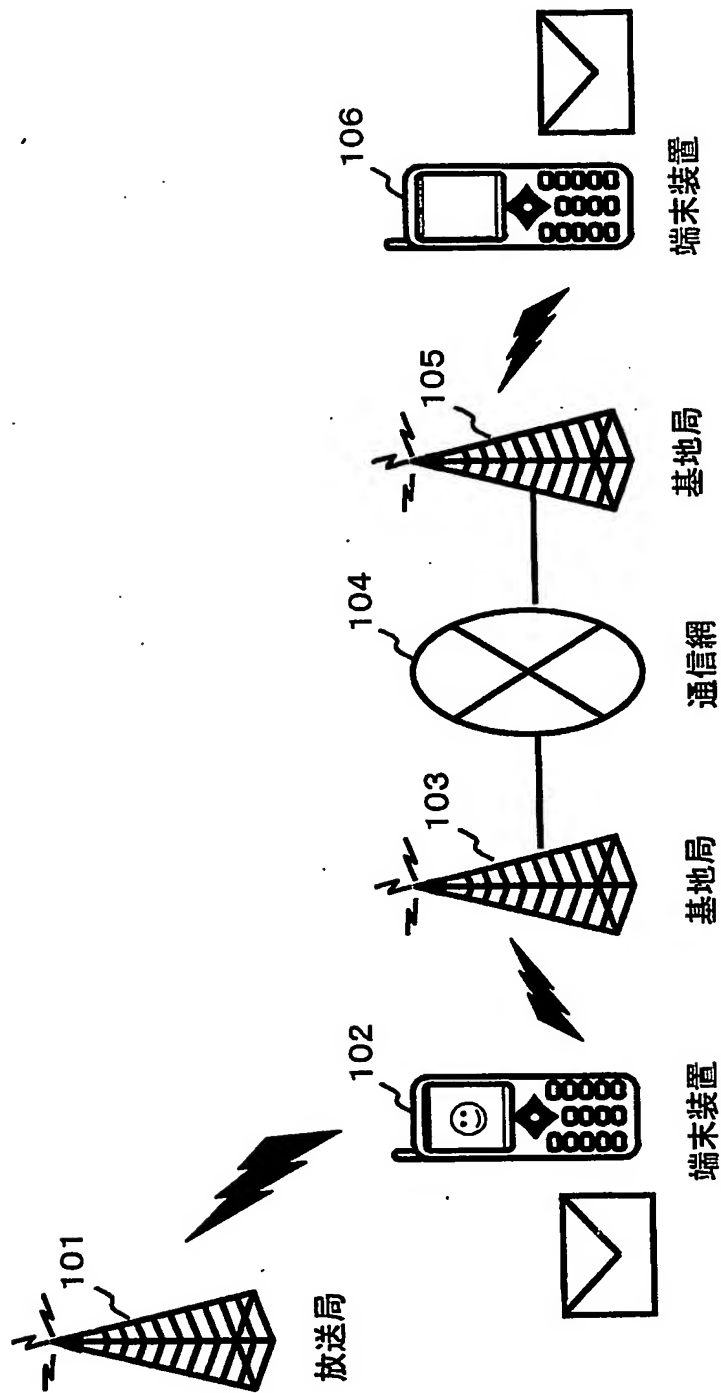
【符号の説明】

【0032】

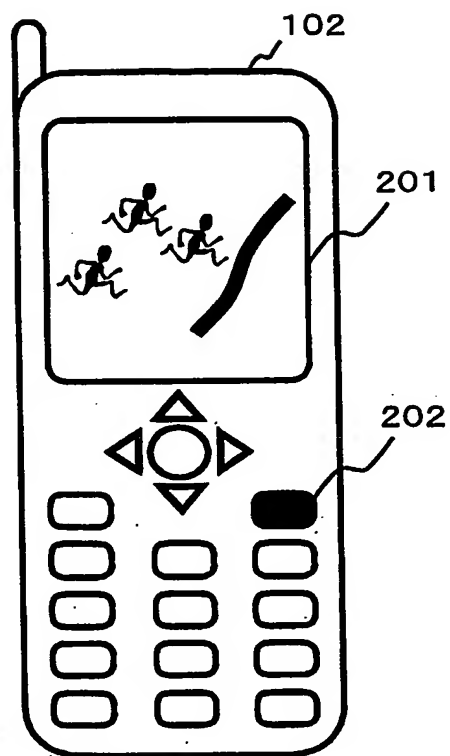
- 101 放送局
- 102 端末装置
- 103 基地局
- 104 通信網
- 105 基地局
- 106 端末装置
- 201 画面
- 202 シーン特定ボタン
- 701 放送受信部
- 702 出力部
- 703 記憶部
- 704 通信部
- 705 CPU
- 706 ROM
- 707 RAM
- 708 ボタン入力部

- 8 0 1 放送受信手段
- 8 0 2 デコード手段
- 8 0 3 映像・音声出力手段
- 8 0 4 記憶手段
- 8 0 5 検索手段
- 8 0 6 入出力受付手段
- 8 0 7 フィルタリング手段
- 8 0 8 メール作成手段
- 8 0 9 通信手段

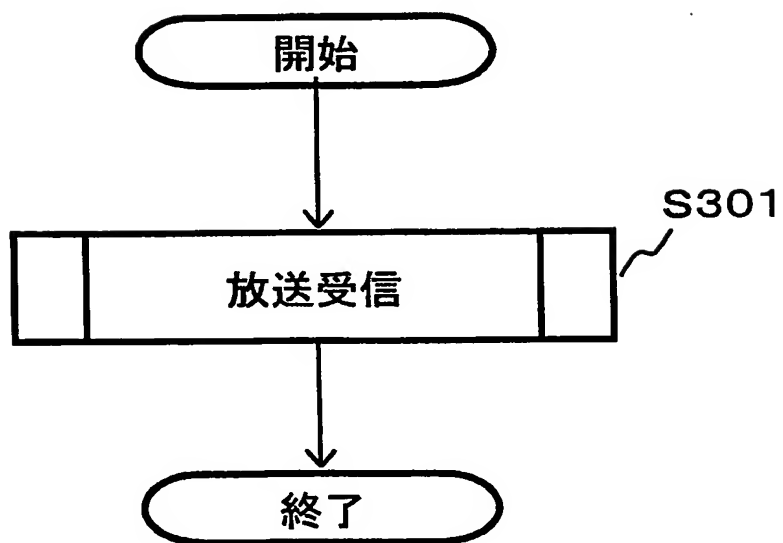
【書類名】 図面  
【図 1】



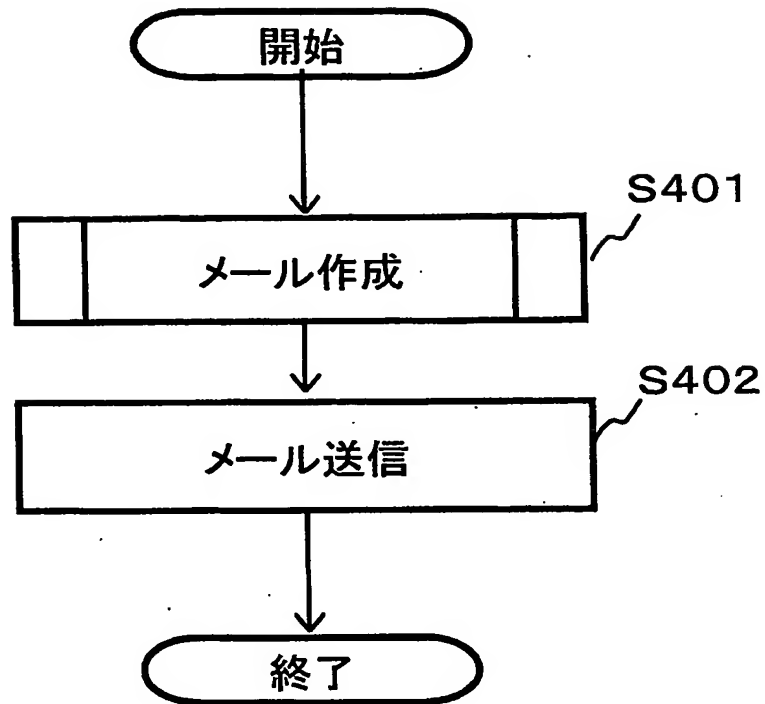
【図 2】



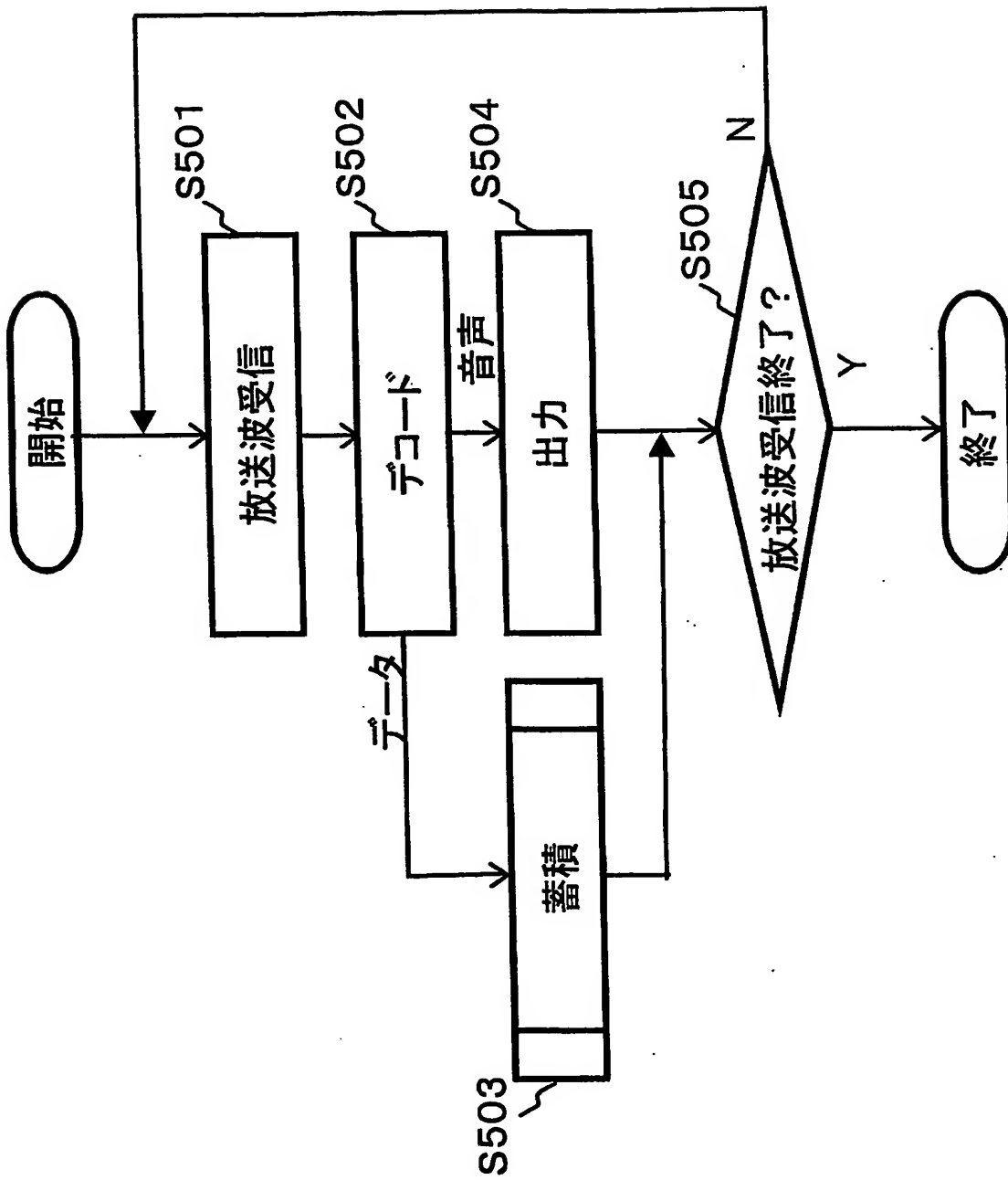
【図 3】



【図 4】

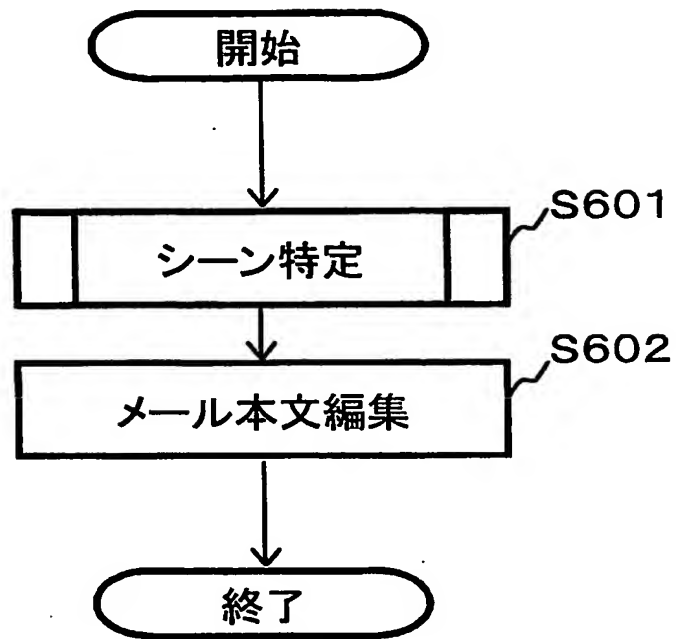


【図5】

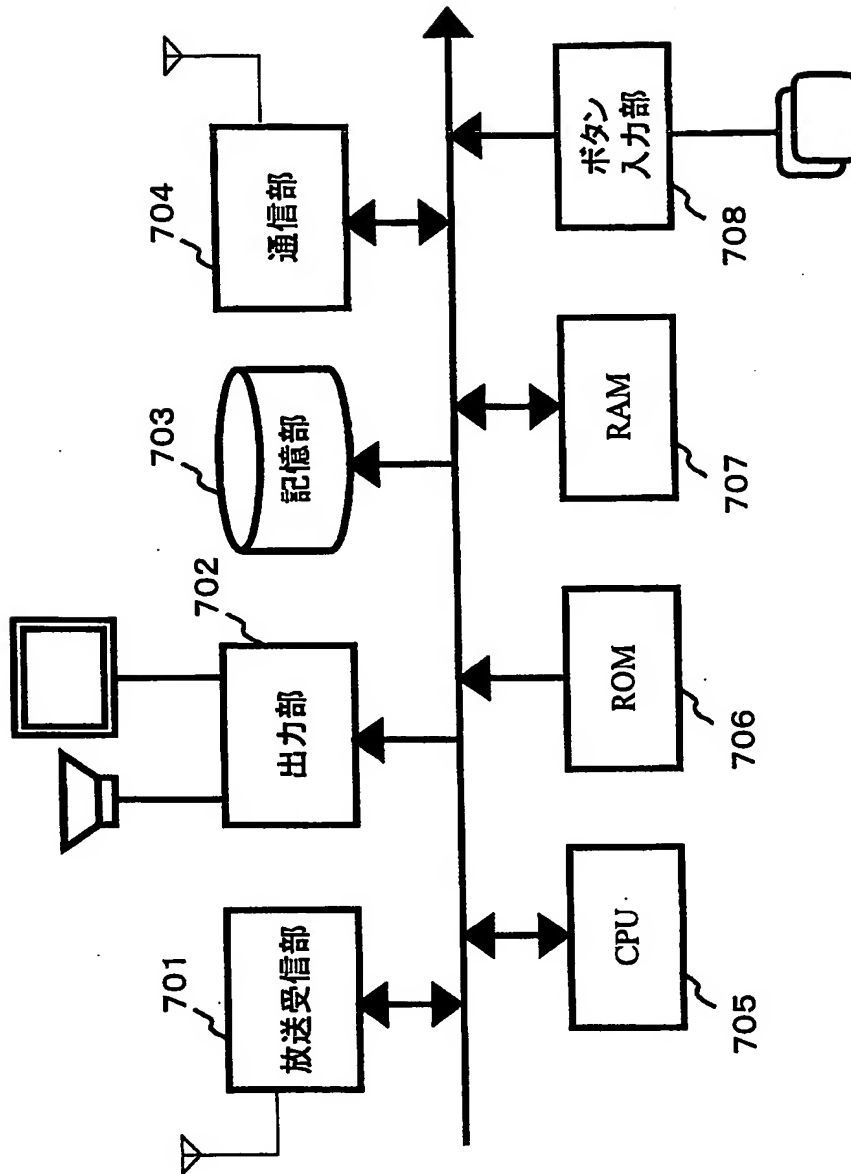




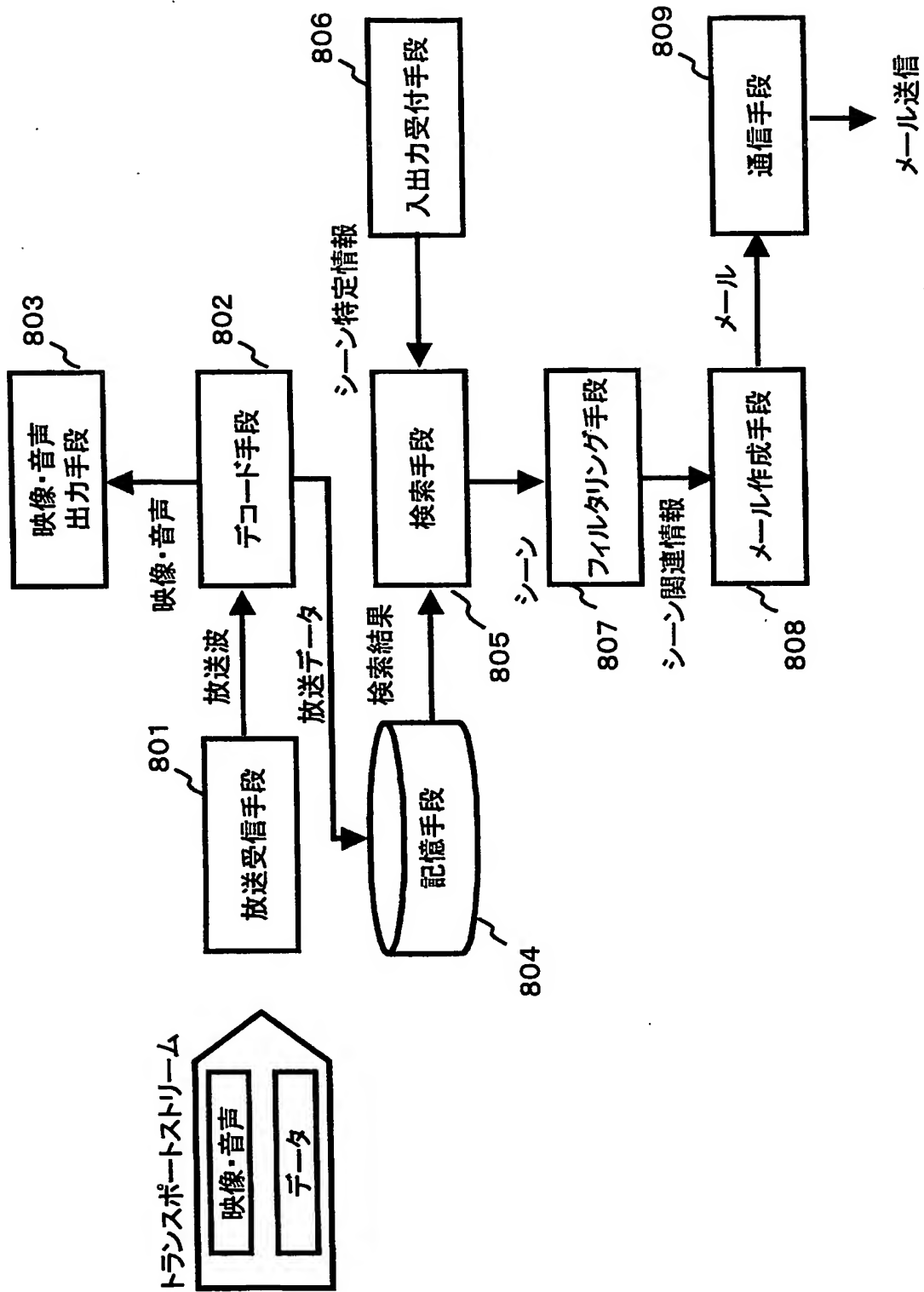
【図 6】



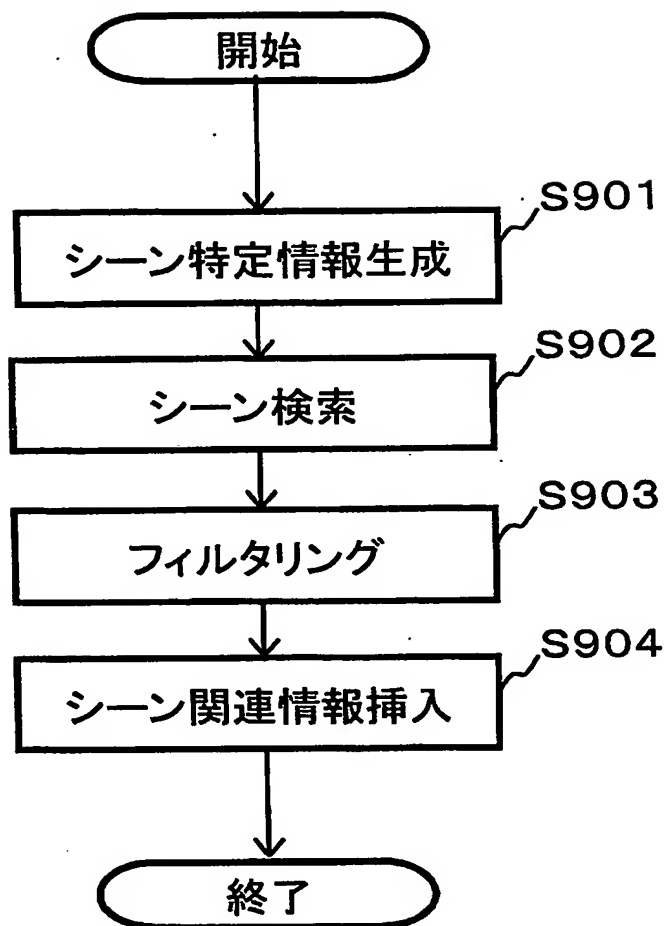
【図 7】



【図 8】



【図 9】

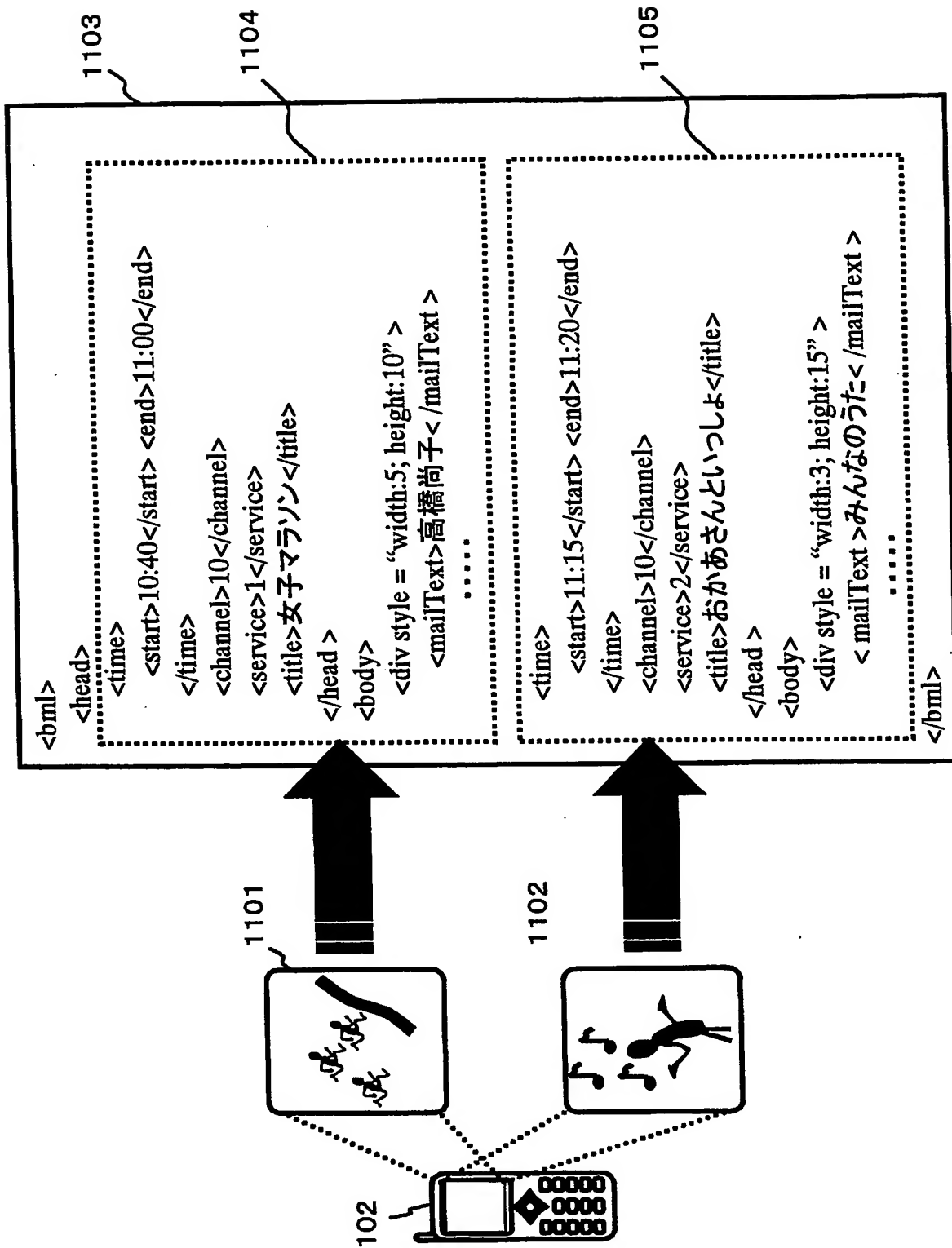


【図 10】

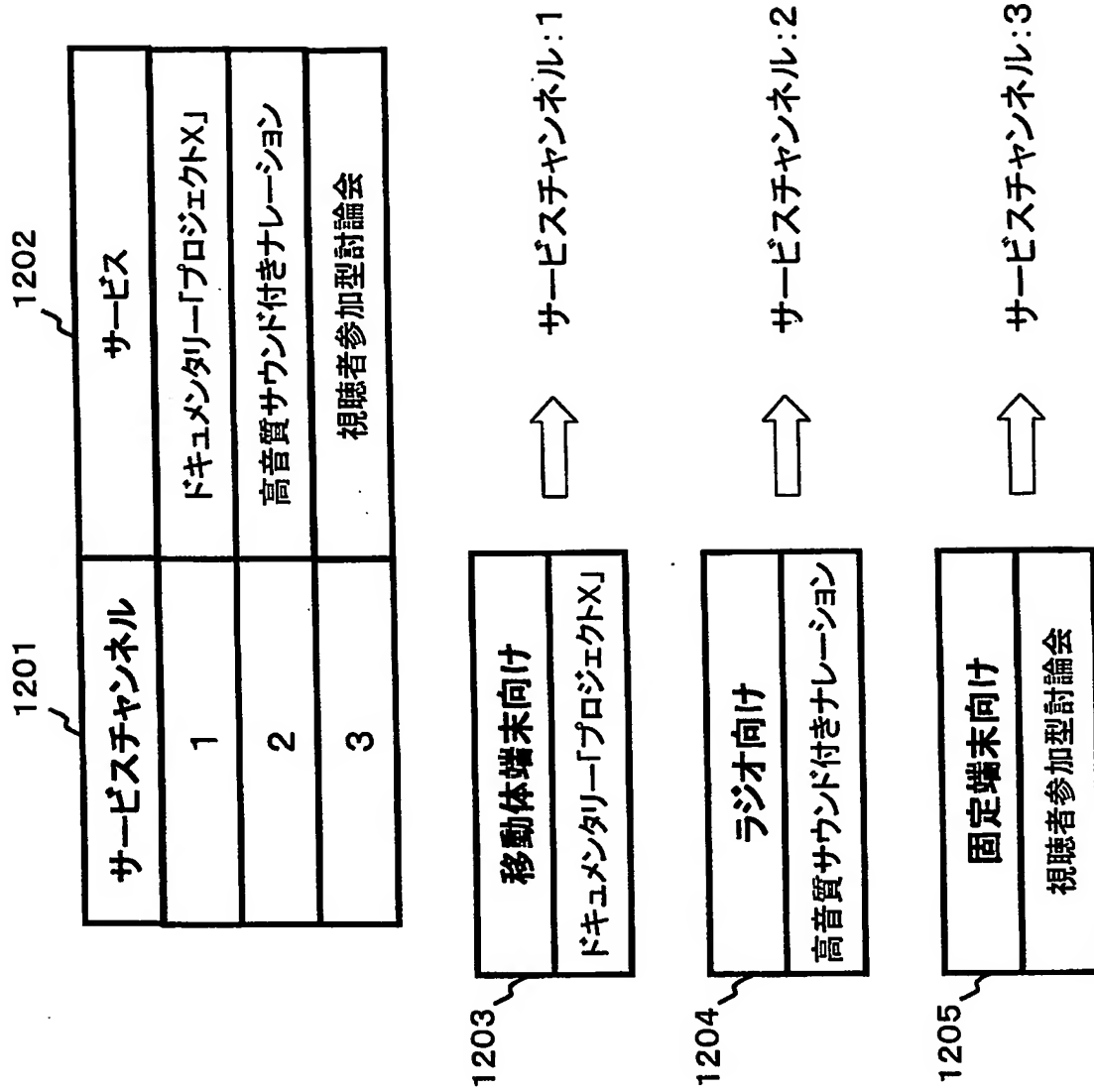
ボタン押下時刻	10:46	1001
チャンネル	10	1002
サービスチャンネル	1	1003

ボタン押下時刻	11:17	1004
チャンネル	10	1005
サービスチャンネル	2	1006

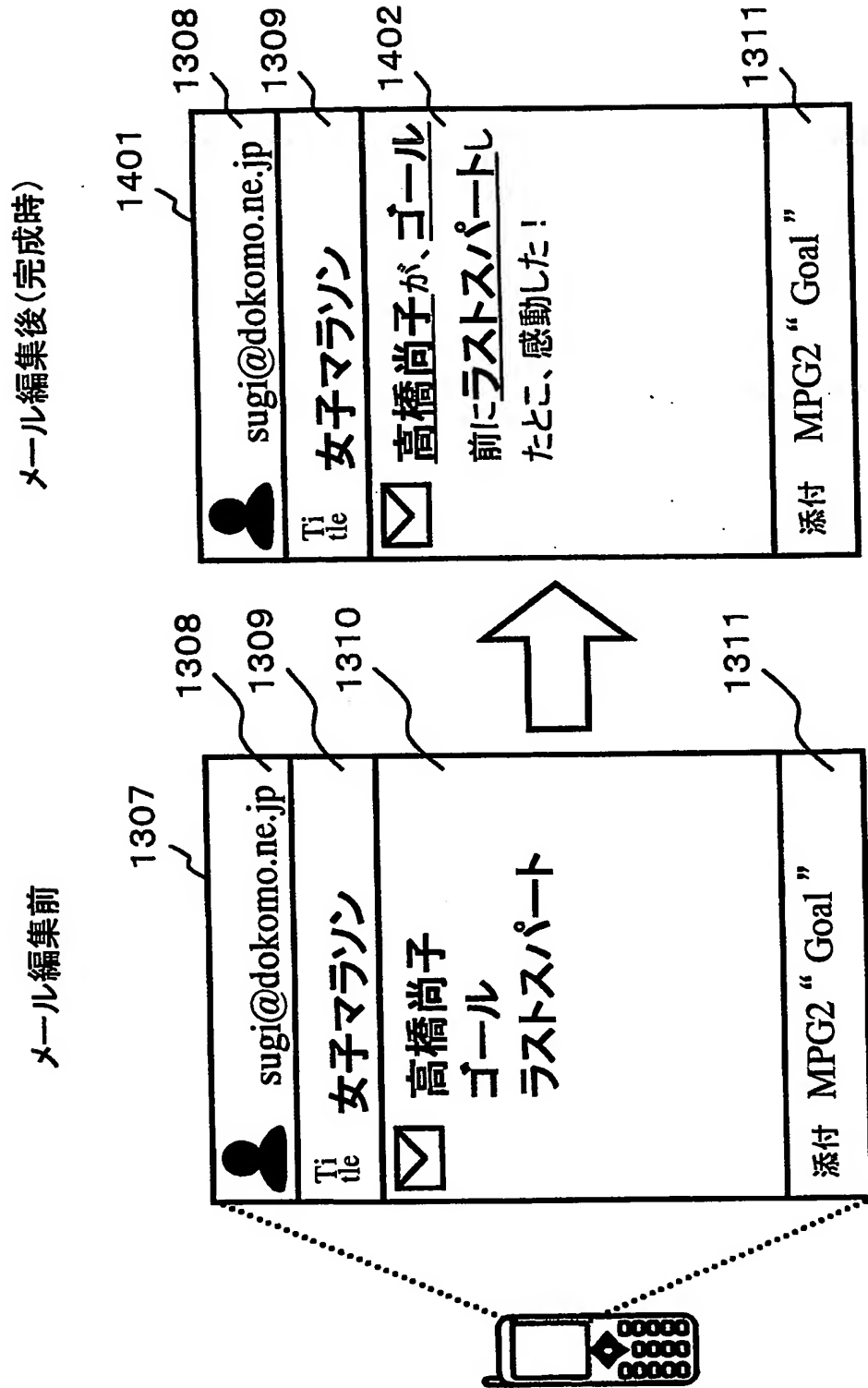
【図 11】



【図 12】

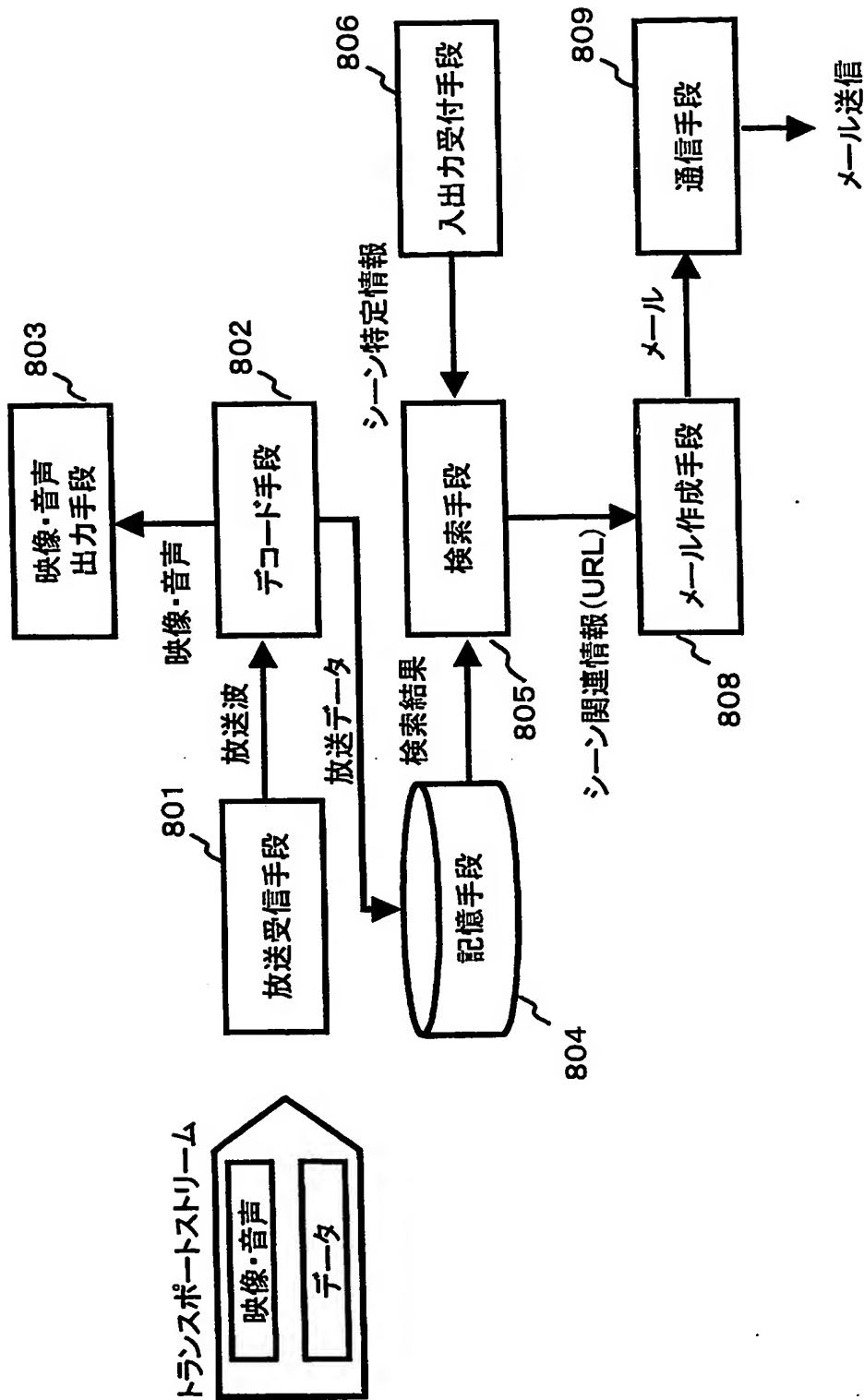


【図 14】





【図 15】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 T V 番組の視聴中に興味を持ったシーンに関する内容の電子メールを別のユーザに対して送信する場合、該当するシーンに遭遇してから電子メールを送信するまでに、多くの時間を費やしてしまうため、即時性を十分に満たしているとは言い難い。

【解決手段】 T V 番組の放送データを利用してメールを作成する。ユーザが T V 番組の視聴中に興味深いシーンに遭遇すると、ボタン押下等により、該当するシーンの登録を行う。登録されたシーンに対応する放送データを特定し、放送データ内のテキストデータを、シーンに関連する情報として、メール本文に挿入する。最後にユーザが、メール本文に対して、挿入されたテキストデータを補う程度の編集を加えて、メールを送信する。従って、容易にメール作成を行うことが可能になるため、即時性を満たしたコミュニケーションシステムが実現可能となる。

【選択図】 図 8

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2003-365485
受付番号	50301772393
書類名	特許願
担当官	第三担当上席 0092
作成日	平成15年10月28日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成15年10月27日

特願 2 0 0 3 - 3 6 5 4 8 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 0 0 0 0 0 5 8 2 1 ]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 8 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地

氏 名

松下電器産業株式会社